

2017年4月20日

プレスリリース

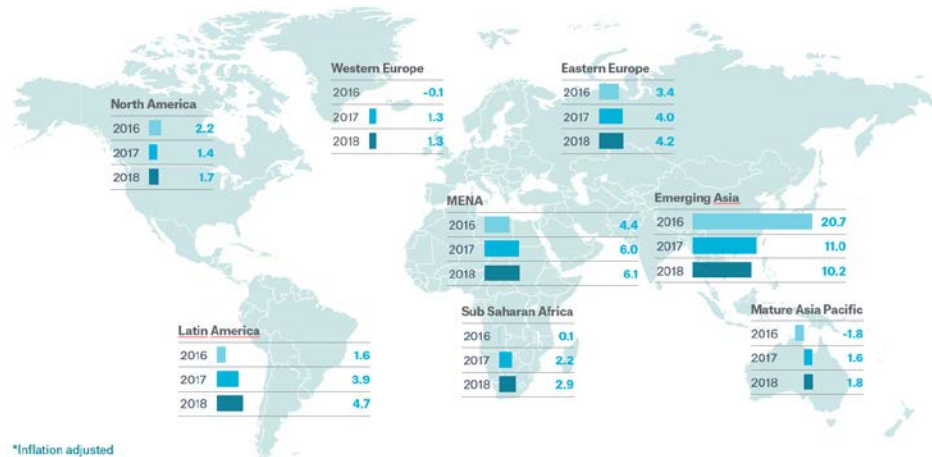
世界の保険業界は2018年までに力強く成長路線に向かう

世界の保険業界は2018年までに若干の成長を遂げそうだ。米国また多くの新興国の経済にも好転の兆しが見られ、それが中国市場の成長鈍化などのマイナス要素を相殺する役割を果たす。長期的には、アジアの新興国市場は最大の成長潜在力を持ち、世界の元受保険料のうち、それら新興国市場が占める割合は、今後数年のうちに、西欧全体の割合に比肩するようになると思われる。

総じて見ると、世界の元受保険分野は2017年と2018年に、年平均4.5%（インフレ調整後の実質成長率で3.0%）の成長を達成するだろう。当年の収入保険料の伸びは僅かであろうが、2018年は若干高い実質成長率3%が見込まれる。保険分野の収入保険料の推移は、世界経済に連動する傾向がある。ちなみに2017年と2018年の世界経済は、それぞれ2.9%と3.1%の実質成長を達する見込みである。保険料増収の予測は2016年に比べてわずかに上回り、過去10年間の平均成長率である、概ね2%を大きく超えるものとなるだろう。

ミュニッック再保険のチーフ・エコノミスト、ミハエル・メンハート は次のように語る。「多くの新興国市場、例えばブラジルまたロシアでさえ、目に見えて経済回復を達成し始め、これは、ひいては損害保険の成長の誘因となる。大方の先進工業国市場---ユーロ圏、米国ならびに日本---では、保険需要は底堅い経済環境によって支えられている。当社では、これらの地域の生命保険の成長は、低金利の環境下において、微々たるものにならざるを得ないものと見ている。これとは対比的に、新興国市場における保険需要は明らかに増大し続ける。従い、全世界的には、保険事業者の成長するチャンスにやや光が差してくると見られる。」

Global primary insurance premium growth (%)*



やや伸びの鈍い損害保険

当年と来年、損害保険ビジネスの保険料ボリュームは平均で 4.0% (実質ベースで概ね 2.5%) の成長をたどる。従い、インフレ調整済みの予想成長は世界の経済成長を 0.5% ほど下回ることになる。アジアの新興国と、中東また北アフリカ (MENA) 地域も、持続的に力強い成長率を示すようになる。欧州また北米の伝統的マーケットの成長率は、当然ながら、それらより低いものになる。

損害保険の成長の足取りが比較的鈍いことには多くの、また多様な理由がある。現在、多くの先進国の保険業界は増大する課題に対応を始めている。保険会社は常々そのビジネス・モデルの開発を進めてきており、例えばサイバー攻撃といった新たなリスクに対して、新商品、販売チャネルまた保険カバーの構想が開発され、IT システムの近代化も図られてきている。その結果、これらのマーケットでは新たなビジネス・チャンスが徐々に生まれつつある。

生命保険の一層強い成長

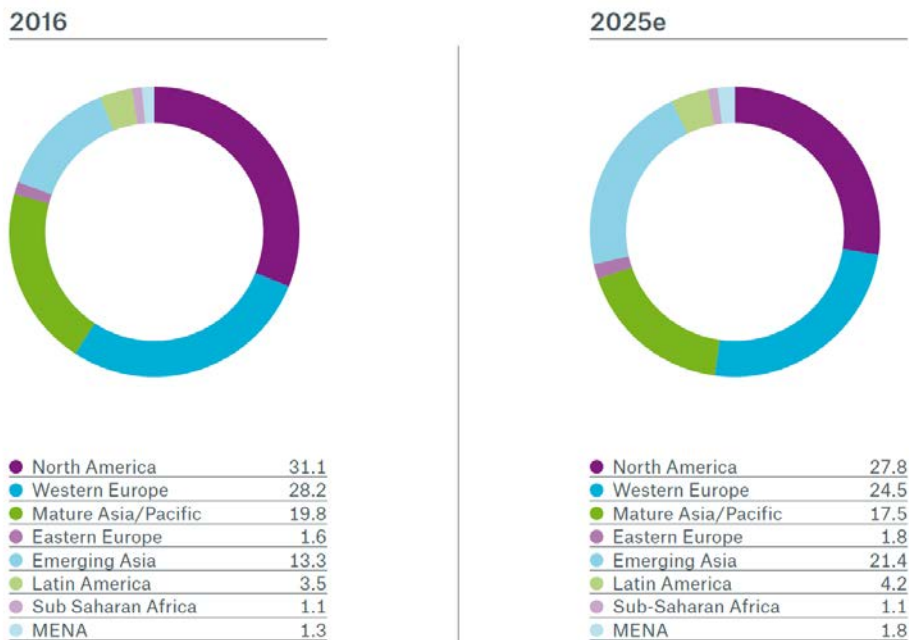
生命保険分野では、保険料の増収をアジアとラテン・アメリカの成長市場が牽引しているが、この保険料は平均して 4.5% 以上 (実質でも 3.0% という高率) で増加するものと思われる。これは経済成長を幾分か上回るものだ。アジア新興国の成長は、昨年、中国の保険料ボリュームが例外的に増大しており、その影響を受けて、当年は鈍化するであろう。それでも実質ベースで 10% を超える成長率は注目される。ラ

テン・アメリカの生命保険の保険料は当年と来年、ほぼ 8.5%(実質ベースで 6.5%超)の増収をしようとしている。先進諸国の見通しは、引き続き低金利によって視界不良状態にあるが、これらの地域における保険料の増収は経済成長にはまず及ばないだろう。しかし、新興市場の堅調な保険料増収が先進諸国のそこそこの進捗状況を殆ど埋め合わせる形になる。

長期的展望: 増大する新興国のマーケット・シェア

新興国市場は、その活発な成長力から見て、国際的保険業界のなかで、ますますその重要性を増すことになる。各年の保険料ボリュームの予想増加分のうち新興国の占める割合は 2016 年では 20%、これが 2025 年までに 47%に上昇するものと予想される。これには生活水準の上昇と保険カバーの需要増加が2大要素として寄与している。金利の上昇と人口統計的動向により、先進国でも生命保険分野が再び増加路線に転ずる公算は十分ある。全体を総覧すると、2025 年までに、アジアの新興国のマーケット・シェアは 21.4%に達し、西欧のそれ(24.5%)に肉薄するであろう。そして北米は 27.8%を占め、首位の地位に立ち続けることは間違いない。

Regional distribution of total primary insurance premiums in 2016 and 2025, in %



Munich Re stands for exceptional solution-based expertise, consistent risk management, financial stability and client proximity. This is how Munich Re creates value for clients, shareholders and staff. In the financial year 2016, the Group – which combines primary insurance and reinsurance under one roof – achieved a profit of €2.6bn. It operates in all lines of insurance, with over 43,000 employees throughout the world. With premium income of around €28bn from reinsurance alone, it is one of the world's leading reinsurers. Especially when clients require solutions for complex risks, Munich Re is a much sought-after risk carrier. Its primary insurance operations are concentrated mainly in ERGO, one of the leading insurance groups in Germany and Europe. ERGO is represented in over 30 countries worldwide and offers a comprehensive range of insurances, provision products and services. In 2016, ERGO posted premium income of €16.0bn. Munich Re's global investments (excluding insurance-related investments) amounting to €219bn are managed by MEAG, which also makes its competence available to private and institutional investors outside the Group.

Disclaimer

This press release contains forward-looking statements that are based on current assumptions and forecasts of the management of Munich Re. Known and unknown risks, uncertainties and other factors could lead to material differences between the forward-looking statements given here and the actual development, in particular the results, financial situation and performance of our Company. The Company assumes no liability to update these forward-looking statements or to conform them to future events or developments.

Munich, 20 April 2017

Münchener Rückversicherungs-Gesellschaft

Aktiengesellschaft in München

Media Relations

Königinstraße 107

80802 München

Germany